

## 4月(2018) p4c Japan ミーティング報告

- 日 2018.4.21 (土)
- 時間 17:30-19:30
- 会場 大阪大学中之島センター501
- 参加者 大学教員3 小学校教員1  
金澤 中川 菱田 榊形 森本 (運営メンバー) 敬称略
- 記録 辻村 (※: 記録者)

### キーワード

p4c japan ワークショップ 組織化 運営 広報素材 道德教科化 カリキュラム・マネジメント

### 0. 榊形さんから

- ①中川さんに仕事が集中していることの解消
- ②メールリスト (ニューズレター) /HP の改訂即時性についての提案

上記2点について、意見を募る提案から、組織化の是非/p4c japan の位置づけなどへと対話が展開しました。今回、はじめて参加された方(大学教員1名)がいいらしたので、自己紹介も兼ねて各自意見を述べられました。

○組織化するということは、「~でなければいけない」「~は(綱領)に合わない」などのコンフリクトを生じさせる。(中川)

○p4c japan のコアメンバーとしては、「緩さ」(誰でも入会できる/いつでも退会できる)が大切だと思っている。学会化などは全く考えていない。(小学校教員)

○誰でも入会できる/いつでも退会できるーといったコンセプトを明確にしてはどうか?  
実際、学会の運営を行っているが大変な労力が必要。(大学教員)

○今回でこのミーティングは何回目になるのか?(大学教員) ←調べれば、直ぐにわかる。(中川)  
※会の履歴も含めた記録の必要性のご指摘かと受け取る。

○小学校5年の担任をしていて、男女間で揉め事があった。はっきりとものをいう女子が、男子をやり込め、後で話を聞こうとしたら、**女子がコミュニティボールを取りに行き、ボールを持って泣きながら話し始めた。**(小学校教員)

※このようなエピソードは、HP にニューズレターをあげる機能があれば、直ぐに伝えられる。現場で教育活動をおこなう p4c 実践者には、とっても共感できる話。この話のよさを伝えたいとも思いました。

○自分はBF(偏差値でボーダーが設定できない選抜制の低い大学)の大学で教鞭をとっており、資格獲得に直結する講座を担当している。そういった学生にインクルーシブといった観点から大学も色んな対策を今年度からとってきており、p4c に興味がある。(初参加の大学教員)

○p4c 検索をかけると p4c japan が、最初にヒットする。そこで、p4c japan を知ってコミットしてくれる人も多い。いままで発信してきたことに伴う倫理観も必要だと思う。規模の大小はあるがきっちりとした組織化が必要だろう。ニューズレターをあげるにしても **ここでの倫理規定** を定める必要もあり、「緩さ」はとっても魅力的だけど、アンビバレンツな状況を認識して、時間をかけてでも組織化の方向性を探るべきだと思う。(辻村)

自己紹介と各自意見が述べられたところで、ML上告知していた**広報媒体の提案とそれへの議論**へ移行。

## 1. ミーティング

### 1-1 広報媒体ーリーフレットの検討

#### リーフレットの叩き台を提示して説明

- 以前から p4c japan を広報する媒体の検討が課題になっていた。
- 今回、辻村が担任していて幼稚園の園長をしている卒業生の所にプレゼンに行く際の広報資料として、パンフレットの作成を考えた。(菱田さん/榊形さんからの示唆いただいて)
- 当初、パンフレット(情報量の多いもの)をイメージしていたが、p4c japan のメンバーが実践しているコンセプト・コンテンツで共通している最小限のもので作成した。
- 「知的に安全」は、菱田さんが被教授者側からの視点を提示する(昨年のミーティングで)まで、私には教授者側が提供する「安全」という視点しかなかった。今回リーフレットをまとめるときに、被教授者側の視点を反映したいと思った。

#### 意見

- ①スタッフの紹介は要らないのではないか?ー参加者の所属の多様性がわかる内容に換えます。
- ②**公立小学では、こういった広報素材は配布できない。学校全体の取り組みであるとか、学年での取り組みではないことへの広報は、非常に難しい。**
- ③これ自体は、悪いことではないので、**ML に流して広く意見を募ればいい。**ーその方向で対応します。

### 1-2.上記②の意見から展開した対話

○先日の参観・懇談会は、クラスの全員の保護者が出席(23人)だった。参観後の懇談会に19名の保護者が残ってくれた。p4cを行う度に生徒の意見をまとめた「学級通信」を配布していたことや、昨年放映されたの「おはよう朝日」を観た保護者からの発言もあり、「道徳で行う/自分たちで考え・答えを出す」p4cについて、理解をもらえた。**保護者にとって「ハワイ型とかオーストラリア型とかは関係ない」。**次回、フリー参観の時に実践する。

新任の先生のメンターになっている。教科については教えたが、**道徳教科化の元年**なので、道徳はp4cをやっている/やりましょうとは言えなかった。(森本)

#### これを受けて

- 商店街の商店数が著しく減って、商店会から p4c への補助も難しいが、困難な状況であっても実践を続けてきたいと思う。**(保護者にとって)「ハワイ型とかオーストラリア型とかは関係ない」。**という姿勢を自分とはとらない。難しい内容であっても、伝えることはしたい。今 p4c を一緒にしている子どもが将来ハワイに行ったときに「ああここで p4c のハワイ型ができたんだ」って思うかも知れない。(菱田)
- 高校での教員経験が長いからかもしれないが、難解な語彙/概念だから生徒に提供しないということはしてこなかった。敢えて難解な授業をしてきた。ただ、小学校の先生が提供する教科数の多さや到達目標を考えるとどうしても端折らざるを得ないことも理解できるようにはなった。(辻村)
- 道徳の教科化が混乱を現場にもたらした。評価をする必要もあり p4c での道徳は難しくなるのではないかと他の教科での p4c の活用を考える必要がある。(※カリキュラム・マネジメントへの志向)(金澤)

## 2. 最後にー中川さんから提案

学校での仕事が昨年度より随分と楽になったので、以下3点提案する。

①現在の自分が抱えている仕事を「買って下さい」（※引き継ぎしたい）

②会則を作るならかたぐるしいものではなく。

例えば手書きで。

（※p4c west からの誰でも参加できるし、いつでもやめられると言う精神の表象か？）

③なぜ **japan** なのかと問われる。**japan** の意味を考えてみませんか？

以上